

日時：2013年10月3日(木) 10:30~17:00

場所：情報オアシス4 東京都千代田区神田多町2-4

I. 開会

II. 会長挨拶

野球はピッチャー、キャッチャーをはじめ、9つの役割があります。それぞれの役割に応じて勝利という共通の目的に向かって進んでいかなければなりません。石産協も同じだと思います。それぞれの持ち場で自分の役割をしっかりと認識して頂き目標に進んでいかなければなりません。石産協の目的地は石材産業の健全な発展と更なる向上を通じて世の中に貢献することが我々の目指す道です。本日の理事会の議論も反対の為の反対は不快でしかありません。自覚と責任に裏打ちされ、行動が伴った反対意見であれば大いに結構だと思います。行動の伴った建設的な活発な議論をお願いします。

III. 議事

1. 議長選出：白木副会長 議事録作成人：事務局 中村早苗

2. 定足数確認

理事：出席 64名/83名中 役員候補者管理委員会：太田委員長 監事：出席1名（3名中）顧問：2名 オブザーバー：4名 事務局：3名 合計：77名

3. 議事録署名人の指名：副会長：岸本達也・監事： 斎藤監事

4. 資料及び議案の確認、新議題の採択 前回議事録の確認

5. 本会の目的と事業の確認（定款確認）

【審議事項】

(1) 入退会者について 中江専務理事 資料審議 P1

入会について：全会一致にて承認 退会について：全会一致にて承認

(2) 【輸入卸商部会】業界人向けDVD製作について (DVD上映:望月秀康) 熊野部会長 資料審議 P4

熊野：中国取引の問題点等を映像化した。

DVD上映

熊野：DVDの配布時期は11月の石産協通信と同封を予定している。DVD配布は石産協通信とともに全会員に配布する。動画サイトへアップは禁止とする。中国品質低下等等问题点の現状認識をしていただきたい。

DVDの内容について意見は特になし

審議：全会一致にて承認

(3) 【墓石部会】石の文化調査会より 森田部会長 当日資料 P3

森田：先人が残した石造物を今後も業界の財産として残したい。実施場所は2か所を予定している。

企画は学識顧問山川先生の助言を受ける。各支部単位で動いてもらいその他募集をする予定。ボランティアの形で行う。本来石材店がすべき仕事であることを周知してもらう。

野中：この件に関して個人としては行いたい。11月の支部会議にて判断したい。

田中：山川先生より依頼されたことなのか？

森田：山川先生から情報はあったが話が進んでいるわけではない。

石本：個人所有のものに文化庁等からの指定になっているのか？文化庁の指名願いが必要だと思う。市からもお金が出る場合もある。業者の届け出は国の場合難しいと思う。建設業の許可がないと難しいと思う。

森田：問題点を解決しながら進めたいと思う。

柴田：緊急性を要するものなのか？単体工事についての予算なのか？テストケースならば解るが、協議から審議に上がった理由はなにか

森田：野間神社はいくつか見積もりが挙がっている状態である。工事予算は入っていない。

柴田：支部事業に近い事業なので協議から審議というルールにそって進めてほしい。

岸田：ボランティアで、修復できるものではないと思う。慎重に構えてほしい。

飯島：茨城支部では地震の倒壊した際、教育委員会に聞き話を進め、入札が必要と言われた。査定も必要である。入札をして業者が選定。施工方法等現状が基本。

犬塚：事業目的の石の文化を残す。何か一つのテストケースとして模索。まずはやってみる。分からないからやめるでは先に進まない。障害があると思うが、一つ一つクリアしながら前例を作る。先人の作ったものを学ぶ良い機会である。

白木：野間神社に先日森田部会長、山川先生、技能士会の会長と共に行ってきた。緊急を要する状況であるが、国

の文化財なので段取りは難しい。調査についての予算ということで理解していただきたい。候補地2か所のうち野間神社の方が少し話が進んでいる。施工は資格等の問題があり検討しながら進めていく。

白票：6 反対：0 賛成多数にて承認

(4) 【お墓D委員会】新テキスト作成について

中村委員長

当日資料 P11

中村：テキストについて説明。目次の審議をお願いしたい。

新田：内容がダブっている部分、引用等を含め執筆者と打合せが必要だと思う。索引は設けるのか？ 参考文献は具体的に決まっているのか？

中村：ダブっているところは委員会にて調整を図る。索引等は編集作業にて今後検討。

水野：射場会長に伺いたい。段階的に人事をしていく。発注先のルート。試験に繋がっていくことと思うが、合否基準、実用的な内容、試験形式、将来の人事等考え運営を聞かせていただきたい。

射場：発注先は白紙である。合否基準、論文に関しては不明瞭な部分があった。次回試験は論文形式ではなく設問形式になる予定である。実用的なテキストとして会員にアンケートをとり、結果を委員会にて検討。

冒頭でも申し上げたが、自覚や責任を持ったうえで、行動が伴った反対意見は歓迎したい。

意見だけを言うだけで、自らは何も行動しない。そのような意見は聞くつもりはない。

今野：項目は役立つような内容。これだけのことが現場に必要なのか？ 整合性が取れる内容。クレーム対応などのある内容にしてほしい。資格を取る価値がある内容。500万の予算である。改定というチャンスを生かしてほしい。もう一度業界のことを考えた内容に再度検討してほしい。

中村：足りない部分があれば委員会に申し出てほしい。具体的な提案が欲しい。

中江：契約書を正式に交わすことが必要。内容の制約があり、原稿納期がハードである。

中村：契約書内容を現在作成中。

石本：行政の動向その影響というのは意味があるのか？ 5年10年後は内容が変化する。貿易事情も同様に変化していく。執筆者の肩書きも必要では？ 監修は学識のある人に依頼してはどうか。

中村：再度執筆者と相談しながら進めていく。監修についてまた検討したいと思う。

柴田：営業マンだけのものではない。行政については必要だと思う。どう使うかはその人次第だが、知識として知っていることは良いと思う。

熊野：執筆予定の貿易事情について構想の段階だが、貿易の仕組みについて記載しようと思う。

前迫：このテキストは何度も練り直し、世間に出して恥ずかしくないものとしていただきたい。

中村：出来た原稿は事務局にて閲覧可能にしようと思う。

賛成多数により可決 反対：2名 白票：2名

(5) 【役員候補者管理委員会】会長候補者について

太田明彦 委員長

資料審議 P6・P28

太田明彦：射場氏一名の立候補。1名のみ立候補の場合は無投票当選とする。理事会にて承認していただきたい。

議長：この審議は総会に理事会から推薦するということを審議する。

反対0 白票0 全会一致にて射場氏を次期会長に承認

会長：ご承認いただきましてありがとうございます。十数年間種をまいてこられた諸先輩方に感謝をし、次の世代の為に花を咲かせていきたい。皆さまの力強いお力添えをどうぞ宜しくお願いします。そして次年度委員会に関して、委員長、委員会を応募したいとも考えている。石産協でこういう事業をすべきだ。ということ募集し新たな委員会立ち上げをしたいと思う。宜しくお願いします。

川本：次期理事について説明。12月末までに支部長、部会長各長を推薦していただきたい。委員長に於いては新しく公募。3月正副までに部会担当副会長、地区担当副会長。委員会担当副会長は会長指名。

(6) 【東日本大震災災害支援本部】支援金について (DVD 上映：岡島支部長)

井口本部長

資料審議 P8

井口：東日本大震災の義援金を災害対策基金と名称変更。

全会一致にて承認。 反対・白票無

岡島支部長より台風18号による滋賀県台風被害について報告(写真)

滋賀県会員中村石材 浸水の復旧支援の申し出をした。のべ18人で作業を行った。主な作業は土砂の撤去、洗浄。墓地の土砂崩れの被害に関しては石材店が作業できるレベルではなかった。作業できる状態になったら支部として協力の申し出をしようと思う。

会長：滋賀県 中村石材店・三重県 中原石材店へ見舞金として10万円を災害対策基金より支出の承認をお願いしたい。

全会一致にて承認

【協議事項】

(1) 【墓石部会】「お墓の正しいご使用方法」制作について 森田部会長 当日資料

森田：何度か議案に上がっているが、修正を加えたので再度協議をお願いしたい。

予算は 70 万円。1 冊 100 円ほどの価格にて販売予定。

石本：いろいろな方法があるので、【正しい】という言葉はない方が良いのではないかな？

能島：文字校正等気になる点がある。目次 1 いろいろ→いろいろ P1

野中：P2 拜石<はいせき>という呼び方は四国の方では使用していない。

今野：訂正箇所を役員メールにて連絡がほしい。

柴田：何が主眼点なのか？ボリュームが大きすぎるのでは？安全問題に絞ったほうが良いのでは？その方が消費者に渡し易いのではないかな？最後の石産協ご案内は必要ないのでは？

今野：消費者目線で作成を考えている。

加藤：P2 お客様欄は必要ないのではないかな？

今野：誰が誰に発行したのか解る為。責任内容を明確にするために設けてある。

石本：タイトルはお墓の説明書にした方が良いのでは？

越智：保証書ではない。P2 上段 販売店：販売店捺印の記載が無いものは無効とする。は必要ないのでは？

石本：会員限定で会員名を印刷するのはどうか？

柴田：保証に関係するような内容は避けるべき。簡素化し一般論的な部分に留めるべき。

犬塚：事故が原因でこの説明書の作成にとりかかった。PL法があり取説をつけることは必要である。

長江：日本各地で墓石のスタンダードに違いがある。地域ごとに写真の差し替えをお願いしたい。

議長：他意見があれば事務局まで

以下継続協議

(2) 【年次 2014 委員会】年次大会 2014 について 戸高委員長 当日資料

戸高：次年度も担当委員長となりました。皆さまよろしくお願ひします。

次年度は 1 日開催か 2 日間開催か検討中。ネームバリューのある講師の講演会。参加したいと思う年次大会を開催したい。

木村：ワーク時間の重複の調整（参加したいワークが重なってしまう）をお願いしたい。

新谷：京都支部では参加者に交通費を補助検討している。ワークショップに目新しいものがない気がする。インパクトのある内容を期待する。懇親会のレベルアップの検討をお願いしたい。

以下継続協議

(3) 【新フェア委員会】NIPPON 石博について 二上委員長 資料協議 P9

二上：内容の提案をお願いしたい。会場中心にメインのモニュメント。昨日 10/2 の委員会での案だが、石で作製した恐竜の化石標本の作製を検討中。日本地図を産地の石で各県の形で作る案もある。石の出ない県をどうすればよいか？複数の石種のある県はどうすればよいか？等の問題がある。キューブ状のサンプルを置く案も出ている。上野公園内の石造物をピックアップし、スタンプラリーを行う。景品（クリアファイルに石産協メッセージ）3 1 1 震災に関連したモニュメントを会場に設置しモニュメント事態に参加者にのみを入れてもらう。

福川：人員が未だ不足している。委員会の参加協力をお願いしたい。

田中：アラギ石という捨て石だが、そういった素材でよければ協力する。

福川：夜間警備を依頼し石あかり展示。貸出いただける石あかりを関東近郊で手配を依頼したい。各地に石材にまつわる【ゆるきゃら】があれば貸出しを依頼したい。

以下継続協議

(4) 【お墓D委員会】1 級取得者研修会について 中村委員長 資料協議 P12

中村：今年度 1 級取得者研修会について説明。

石本：テーマが大変良いと思う。是非頑張ってください。

中村：1 級の差別化。質の高い研修会にしたいと思う。

前迫：せっかく良い内容なので、1 級以外の方も参加できるようにしていただきたい。

中村：オブザーバー参加の特別枠を検討する。

(5) 年会費値上げについて 戸高財務担当/望月副会長 資料協議 P14

望月：会費見直しについて説明。

藤原：値上げを求めるならば 5 名以下の会員も、たとえ 1,000 円でも値上げをすべきではないか？

望月：支部に持ち帰り、支部会員の意見を聞きたいと思う

石本：会費値上げで会員が減るのではないか？C 会員の値上げ率も同率にすべきではないか？

望月：現在は【案】である。併用して賛否を取りたいと思う。

加納：事業目的をもう少し精査すべき。

望月：単年度、今年度は赤字である。繰越金等を使っている状態である。長年続くものではない。来年の 6 月の総会で承認されれば再来年度より会費の値上げとなる。

萩元：基本的に反対である。理事交通費、事務局管理費、新事業等ある中で、使える事業費の中で事業を見直して事業を行うべき。

澁岡：疑問を感じる部分がある。会員に理解してもらえないかわからない。値上げについて支部に持ち帰り考えたい。

斎藤：個人的な意見だが、財政が足りないから会費値上げをするのではなく、会員を増やすべきではないか？

望月：いろいろな案を検討したい。支部での意見があれば 12 月位までに事務局へ報告をお願いする。5 月の理事会までには決定したい。

継続協議

【報告・依頼事項】

- | | | |
|---|------------|----------|
| (1) 【北海道地区】地区全体会議 事業予定 | 越智地区長 | 資料報告 P15 |
| 越智：北海道地区全体会議について説明
赤川支部長：映像による説明 | | |
| (2) 【近畿地区】地区全体会議 事業報告 | 岸田地区長 | 資料報告 P21 |
| 岸田：各支部受け持ちで地区会議を行っている。 | | |
| (3) 【九州沖縄地区】地区全体会議 事業予定 | 山野地区長 | 資料報告 P19 |
| 片桐：参加者を募る。 | | |
| (4) 【奈良県支部】石あかりの小径事業報告 | 池淵支部長 | 資料報告 P23 |
| DVD 映像による報告 井口(功)副会長説明
予算差額の確認 | | |
| (5) 【茨城県支部】いばらき S F 研修事業について | 飯島支部長 | 資料報告 P25 |
| 飯島支部長より説明 参加者を募りたい。 | | |
| (6) 【輸入卸商部会】ミャンマー石材ツアー | 熊野部会長 | 当日資料 P19 |
| 熊野部会長より資料説明。日時が 1/30~2/4 日程に決定。最低で 10 名 30 名以上 を目標とする。
石材の将来性と経済人として注目のミャンマーツアーに是非皆さんと一緒に行きたいと思う。 | | |
| (7) 【次世代育成 NW 委員会】いばらき SF 研修会 | 大川委員長 | 資料報告 P26 |
| 大川委員長より説明 多くの参加者を募りたい。 | | |
| (8) 【広報委員会】記念日 お墓参りの日 制定について | 上野委員長 | 資料石産協通信 |
| 上野：9/23 お墓詣りの日制定し アンケートをとった結果について。1 年間の間に 20 代 8 割がお墓詣りをしない。我々の将来が危ぶまれる。広報委員会としては徹底的にお墓参りを伝える。マスコミにプレスリリースをした。支部にもお手伝いいただきたい。このままでは石材店はなくなってしまうのではないかと危惧している。 | | |
| (9) 【広報委員会】会員支援ツールについて | 上野委員長 | 資料 申込用紙 |
| 上野：是非、支援ツールを掲げてほしい。 | | |
| (10) 【広報委員会】終活読本について | 上野委員長 | 資料なし |
| 上野：創刊号は 6 万部の売上。1 万部売れば大ヒットである。第 3 号にてお墓ディレクターの内容を載せてもらう予定。 | | |
| (11) 【役員候補者管理委員会】次年度理事選任について | 川本副会長 | 資料報告 P28 |
| (12) 経済産業省後援承認について (NIPPON 石博・お墓相談室) | 中江専務・柴田委員長 | 資料 P31 |
| 中江：NIPPON 石博・お墓相談室の 2 事業の経済産業省の後援を取った。
太田：本日午後経済産業省の設備投資促進の支援措置説明会に参加した。支援措置として機械設備。即時償却、ソフトも対象になる可能性がある。我々の業界の機械の適用は難しいかもしれない。詳細の連絡があればまた報告する。 | | |
| (13) 地区大会への助成金及び会計処理統一について | 中江専務 | 資料報告 P33 |

中江：充分内容を確認し地区会議の予算、決算を実行してほしい。

(14)倒産に伴う会員手続きについて

中江専務

資料報告 P35

戸部：(退会)定款 9 条 2 項に基づき退会したものとみなす扱にせざるを得ない。

会費未納の場合には協会に届け出されている住所に督促。定款変更をしなくても大丈夫である。

(15)年会費未納者

中江専務

資料報告 P36

中江：年会費未納者は 1 2 月までが退会リミットである。速やかに支払っていただけるよう推薦者、支部長、地区長の方は連絡をお願いしたい。

その他質問事項等

新田：お墓物語第 2 集は 12 月に発行される予定になっている。最優秀賞の記事が工業新聞に載っているが、それはいいのか？

正副議事録にあるが、会における討議事項について会員へ意見を求めていたと思うが、どのような内容があり、どうしたのか教えて頂きたい。

会長：お墓物語については、常任理事会にて承認している。ルール決めは必要かもしれない。

討議事項の件だが担当から本人には返答している。理事会、常任理事会等でも諮る部分もでてこようかと思う。皆さんへの報告は正副にて協議している段階である。

田中：以前に H P の議案があったが、その後どうなっているのか？

川本：業者を選定している段階である。もう少し待っていただきたい。

戸松：岡崎 S F が 10/19 20 日に開催。是非参加してほしい。

能嶋：兵庫県支部にて消費者向けに神戸新聞に 柳田國男著 先祖の話を 7 0 冊寄贈するというをマスコミにプレスリリース。900 名以上の申込みがあった。先祖供養に関することに興味があるということがわかった。

会長：抽選に漏れた方に『お墓物語』配布したらどうかと思うが賛同していただけるか？

拍手をもって承認

IV. 監事講評

斎藤監事

斎藤：熱心な意見が大変参考になる。いろいろなイベントに協力して頑張りましょう。

V. 閉会

2013 年 10 月 3 日

議事録署名人：副会長 岸本達也 ㊟

議事録署名人：監事 斎藤勝実 ㊟

議長：副会長 白木秀典

議事録作成人：事務局 中村早苗